
第22回 日本水大賞
2020 日本ストックホルム青少年水大賞

受賞者へお祝いの言葉

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

「第22回日本水大賞・2020日本ストックホルム青少年水大賞」の各賞を受賞されました皆様からお祝いを申し上げます。

栄えある日本水大賞を受賞された常総市根新田町内会の皆様は、平成27年9月の関東・東北豪雨による鬼怒川の水害での被災体験をもとに「災害犠牲者ゼロ」を目指した地域防災力の向上に向けて様々な活動に取り組まれてきました。

被災当時は、以前より町内会で用意されていた「SMS一斉送信システム」を活用し、情報共有を図り逃げ遅れを防いだと聞いております。その後も、水害時の避難行動計画「マイ・タイムライン」の作成モデル地区として、ご近所同士の声かけを重視した防災訓練の定期的な実施や、全国各地での講演などによるマイ・タイムラインの普及促進など、積極的な取組が高く評価され、今回の受賞につながったものと存じます。

本県におきましてはマイ・タイムラインの作成について、国や市町村と協力し県内各地に広める活動を行っており、豪雨災害の頻発する昨今、全国各地にもその重要性が認識され、取組みが大きく広がっていると聞いております。

皆様方のご尽力に改めて敬意を表しますとともに、今回の受賞を契機にご活動がますます発展し、さらに飛躍されることを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

令和2年6月23日
茨城県知事 大井川 和彦

祝 辞

第22回日本水大賞「国土交通大臣賞」を受賞された新潟県三条市立第四中学校の皆様、誠におめでとうございます。

この度の受賞は、洪水防災教育により、生徒の洪水災害に対する知識や技能、地域の一員としての責任感を育むとともに、学校が地域防災の中核となって、地域全体の防災意識の醸成に大きく寄与していることに対して、高く評価されたものと喜ばしく思っております。合わせて、地域に流れる豊かな水からたくさんの恩恵を受けていることを学ぶ姿勢に、敬意を表します。

新潟県では、洪水を含めた自然災害と向き合いながら、自らの命を守り抜くための主体的な意識と行動を営む児童・生徒を育むために、「新潟県防災教育プログラム」を作成しています。平成16年及び平成23年の2度の大きな水害を乗り越えてきた三条市民と、本プログラムの目指す姿を体現されている第四中学校の皆様は、各地域や学校にとってのまさに手本であり、目標となります。

今回の受賞を契機として、皆様方の活動がますます発展し、さらに飛躍されますことを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

令和2年6月23日
新潟県知事 花角 英世

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

第22回日本水大賞「環境大臣賞」を受賞されました「特定非営利活動法人黒潮実感センター」の皆さま、誠におめでとうございます。

このたびの受賞は、スギやヒノキの間伐材を用いた人工産卵床設置によりアオリイカの資源回復を図るだけでなく、ダイバーと漁業者の良好な関係づくり、森川海のつながりを学習する機会の提供、さらには森林組合、漁業協同組合、行政の協働で行う「海の中の森づくり」活動への発展など、複数の課題を同時に解決していく実践的な取組であることが高く評価されたものと伺っております。

高知県の西南端の柏島から全国各地に取組の輪が広がっていることは誠に素晴らしいことであり、受賞された皆さまに心から敬意を表します。

今回の受賞を契機に、皆さまの活動がますます発展されることを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

令和2年6月23日
高知県知事 濱田 省司

祝 辞

「第22回日本水大賞」の各賞を受賞された皆様、誠におめでとうございます。

厚生労働大臣賞を受賞された「全国管工事業協同組合連合会青年部協議会」の皆様は、水源涵養林の整備や稲作による地下水涵養、水源地・河川の清掃などの水にまつわる多様なボランティア活動を、長年にわたり継続されてきました。

審査部会特別賞を受賞された「北区・子どもの水辺協議会」の皆様は、荒川下流において、地元市民会議の提案に基づいたワンドの整備、市民や子どもたちの自然観察の支援など、自然を生み出し、自然に触れ合う場を提供する活動を進めてこられました。

このたびの栄誉は、これまでの皆様の着実な活動が高く評価されたものであり、大変喜ばしく思います。

東京都は昨年末、2040年代に目指す東京の姿と、その実現のための取組を示した「『未来の東京』戦略ビジョン」を策定しました。そのビジョンの一つに、「水と緑を一層豊かにし、ゆとりと潤いのある東京」があります。都は、人々が憩い、散策や水遊びが出来るような、潤いのある水辺空間づくりに向け、都民に身近な水辺の整備や水質改善に取り組んでまいります。

皆様におかれましては、今回の受賞を契機に、水資源や水環境の保全・再生に向けて、今後益々ご活躍されることを祈念し、お祝いの言葉といたします。

令和2年6月23日
東京都知事 小池 百合子

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

第22回日本水大賞「農林水産大臣賞」を受賞された「特定非営利活動法人宮代水と緑のネットワーク」の皆様へ、心からお祝い申し上げます。

皆様は、江戸時代に行われた新田開発の歴史を今に伝えるホツツケ（掘上田）において、水と緑の環境保全や農業体験及び環境学習による普及啓発に長年にわたって取り組んでこられました。

こうした皆様の取組は、地域の特性を十分踏まえた環境保全活動であるとともに自然に触れ合うことを通じて次代を担う人材育成が図られ、豊かな自然と調和のとれた地域社会の確立に寄与するものとして、高く評価されたと考えます。

埼玉県でも、農林業、河川整備、都市地域の緑の創出などの各分野において、多様な実施主体と協働し、自然環境への配慮や生態系の保全・再生と、その担い手育成などに取り組んでいます。

こうした中、皆様がこのような栄えある賞を受賞されたことは大変喜ばしく、県内で精力的に環境保全活動を行っている多くの方々の励みになるものと考えます。

今回の受賞を契機に、皆様の活動がますます発展されることを祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和2年6月23日
埼玉県知事 大野 元裕

祝 辞

「第22回日本水大賞」の各賞を受賞された皆様へ心からお祝いを申し上げます。

愛知県立時習館高等学校様におかれましては、故郷のきれいな海を想い、10年以上にわたり東三河地域の高校生有志や研究機関と連携して、三河湾の海域、干潟、流入河川の環境調査を実施し、多様な視点から三河湾の環境に関する研究を行うとともに、その成果について学外の発表会などで広く発信されてきました。また、海岸清掃活動や小中学生対象の出前授業なども行い、地域と協働した取組を進めてこられました。

このような、長年の取組が高く評価され、今回の受賞につながったと存じます。

皆様の取組がこうした栄えある賞を受賞されたことは、三河湾の環境再生に向け、県民の皆様、NPO、事業者、関係団体及び行政等が一体となって、地域における機運の向上に取り組んでいる本県にとって、誠に喜ばしい限りであり、また、その取組に敬意を表します。

受賞された皆様方におかれましては、今回の受賞を契機に、ますますご活躍されますことをお祈りいたしましてお祝いの言葉といたします。

令和2年6月23日
愛知県知事 大村 秀章

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

第22回日本水大賞「経済産業大臣賞」を受賞されました有限会社角野製作所及び特定非営利活動法人地域再生機構の皆様、並びに2020日本ストックホルム青少年水大賞「審査部会特別賞」を受賞されました鶯谷中学・高等学校自然科学部の皆様、心よりお祝い申し上げます。

有限会社角野製作所及び特定非営利活動法人地域再生機構の皆様の取組みは、本県も力を入れている水資源を活かした小水力発電により、地域再生から世界的なエネルギー問題という幅広い課題に対する、取組みとして大きく評価されました。

また、鶯谷中学・高等学校自然科学部の皆様の取組みは、独自に開発した産卵水槽を用いて、環境省及び当県のレッドデータブックで準絶滅危惧種に指定されているヒダサンショウウオの産卵行動を解析したもので、得られた知見や課題が今後のサンショウウオ類の生態解明へ貢献することが期待されます。

皆様の活動は、現在の環境問題の一助となり、また、将来を担う若い世代による大変心強い取組みであり、まさに本県が進めている「清流の国ぎふ」づくりにつながるものと期待しています。

今回の受賞を契機に、皆様の活動の輪が広がり、今後ますますご活躍されることを祈念いたしますとともに、活動を支えてこられた関係の皆様のご尽力に心から敬意を表しまして、お祝いの言葉といたします。

令和2年6月23日
岐阜県知事 古田 肇

祝 辞

第22回日本水大賞「市民活動賞」を受賞された十和田市名水保全対策協議会の皆様、2020日本ストックホルム青少年水大賞を受賞された青森県立名久井農業高等学校の皆様、誠におめでとうございます。

十和田市名水保全対策協議会の皆様は、かけがえのない湧水群を次世代に引き継ぐため、植樹や環境整備などの湧水地の保全活動や、小学校における環境学習の支援などの活動を、地域住民の自発的な取組として30年以上にわたり続けてこられたことが高く評価されたものと伺っております。

青森県では、「青森県ふるさとの森と川と海の保全及び創造に関する条例」において、すべての人の参加の下にふるさとの森と川と海ができる限り自然の状態で維持されることを施策の基本としており、その理念を体現する活動に長きにわたり取り組まれてきた皆様のたゆみない努力に深く敬意を表します。

青森県立名久井農業高等学校の皆様は、アジアやアフリカなどの乾燥地帯における水の確保のため、ザイや半月工と言われる西アフリカの集水方法をヒントに、日本に古くからある三和土（たたき）を材料とした、耐久力、集水力、土壌流出抑制力などを併せ持つ新しい多機能集水技術を考案し、世界の水問題の解決に貢献する可能性を秘めたこの研究の発想の斬新さが高く評価され、2018年に続いての大賞受賞に繋がったものと伺っております。

青森県では、新しい価値を創造する力や国際感覚を身に付け、世界に向かってチャレンジできる人財（じんざい）の育成に取り組んでおり、これからの時代を担う皆様が、世界規模の水問題の解決に果敢に挑戦されたことは非常に頼もしく、嬉しく思っております。

結びに、今回の受賞を契機に、十和田市名水保全対策協議会と青森県立名久井農業高等学校の皆様の活動がより一層発展されることを祈念し、お祝いの言葉といたします。

令和2年6月23日
青森県知事 三村 申吾

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

第22回日本水大賞「国際貢献賞」を受賞された「特定非営利活動法人紫川を守る会」の皆様へ、心からお祝い申し上げます。

皆様は、北九州市を流れる紫川の環境保全に取り組んでこられた経験を活かし、深刻な水質汚濁が起きていたマレーシアにおいて、地域住民の参加による河川清掃活動や廃棄物の3R活動、環境保全意識向上のための市民魚釣り大会の実施など、河川の水質改善に向けた実践的な活動に尽力されてきました。今回の受賞は、皆様の長年にわたる地道な活動により、環境保全に関する意識と手法が現地にしっかり根付いていることが高く評価されたものと伺っております。皆様の熱意とご努力に深く敬意を表します。

福岡県では、水環境の保全に取り組む団体や関係機関が一堂に会し交流する「ふくおか水もり自慢！」の開催などを通じて、県内の様々な地域で川や水に関わる活動をされている方々の連携を深める取り組みを進めています。このような中、皆様が国際貢献賞を受賞されたことは大変喜ばしい限りです。

今回の受賞を機に、皆様の活動がますます発展し、さらに飛躍されることを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

令和2年6月23日
福岡県知事 小川 洋

祝 辞

第22回日本水大賞「未来開拓賞」を受賞された、清風高等学校 生物部の皆様へ心からお祝いを申し上げます。

今回、皆様が取組みされた「水環境の新たな改善方法～アオコの抑制とヘドロの再利用方法～」においては、ヘドロの除去による水質改善への可能性を示す調査研究内容や、堆肥を府内の地域産品の栽培に活用するとのユニークな視点が、今後のさらなる発展を期待させるものとして高く評価されました。

将来を担う若い世代が、地域の方々や行政に働きかけ、水環境の保全に努めようとされる姿を、誇りに思うとともに、敬意を表するところです。

今回の受賞を機に、皆様がさらなる成果を上げられることを祈念し、お祝いの言葉といたします。

令和2年6月23日
大阪府知事 吉村 洋文